

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成29年 7月 6日

三田市議会議長 平野 菅子 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	佐々木 智文	印
		議員名		
派遣者氏名				
視 察 先	新潟県三条市旭町 2-3-1 三条市役所 新潟県見附市昭和町 2-1-1 見附市役所 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5 糸魚川市役所			
調査事項 (調査目的)	三条市：マイナンバーカードによる独自サービスについて 見附市：教育委員会に子育て関連業務を一元化について 糸魚川市：子ども一貫教育方針の基本理念について			
日 時	29年 6月 28日(水曜日)～ 29年 6月 30日(金曜日)			
視察先対応者				
添付資料	・ ・ ・ ・			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	29年 6月 28日(水) 14時00分～ 16時00分
視察先	新潟県三条市
調査事項	マイナンバーカードによる独自サービスについて
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>知恵と工夫による「コスト」の削減と「独自」サービスの提供により、住基カード時代には、市内400事業所でのカード保有者に割引を行なうサービスなど積極的に行い、全国平均普及率が約5%でありながら、三条市では14%の普及率であり、市としての独自のサービスを展開して大きく伸ばして、市民への浸透させる方策やまた施策を実施して、普及率のアップに繋げて当市でも行なえる施策であると思った。</p> <p>またこれらに伴いマイナンバーカードでも同様のサービスにあわせて、①選挙の投票入場受付②避難所の入退所受付③窓口支援④証明書のコンビニ交付⑤図書の貸出受付など、独自サービスを充実させ他市にない多くのサービスを充実させ、また、市職員の出退勤管理を導入して所持率が85.4%もあり職員管理も徹底できていることが、伺えました。</p> <p>その他、市民への普及に向けた取り組みとして、住基カードの所有者や新規の市民へのサービスとして、各種イベント会場や自治会集会などで、写真撮影と申請代行を行い市民にとって申請しやすくまた利便性の向上につなげていた。これらもどの市でも可能であることから、当市も積極的に取入れが出来るよう提言したいと思います。</p> <p>その他、新潟県内の近隣市との共同化を進めて、三条市では11分野において共同化を実施して、予算削減を大きく向上させ、「住民の血税を考えればやらない理由はない」ことを前提に共同化を進めている。このことから、三田市も財政事情は厳しいので、この内容を少しでも取り入れられれば、経費削減に大きく寄与できると思われました。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	29年 6月 29日(木) 10時00分～ 12時00分
視察先	新潟県見附市
調査事項	教育委員会に子育て関連業務を一元化について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>こども課と学校教育課との連携による取り組みは、0歳から18歳まで一貫した支援を行い、ふるさと見附を愛する子どもの育成と、世に役立つことを喜びとする子どもの育成に繋がっている。市教委こども課の設置は、総がかりを合言葉に、一貫したこども施策を教育委員会で展開し総合的な教育力の向上を目指している。</p> <p>こども課の設置に伴う基本的な考え方の中で、核家族化の進行や地域の人間関係の希薄化と、子育てに対する親の孤立化や不安感の増大など、これらを払拭する上で見附市が行なったことは、乳幼児から18歳までのこどもの人格形成をトータルで支援する体制を整え、子育て支援や保育に関する業務を市教委へ移管して、こどもに係る業務の一元化やこどもに関する一貫した施策の展開を行い、育児放棄や児童虐待のなくすことになど、これらの施策を一貫した支援として支えていけることは、わが市でも、今後の施策に繋げていけるよう提言をしていきたいと思います。</p> <p>また、こども課の目指すものとして、心身ともに健康なこども育成、こどもの人格形成をトータルで支援する組織の構築、家庭の教育力向上や「共育」の推進、子育て支援の充実など、多くの目標を持って見附市の教育理念の達成に寄与している。これらのことから18歳までの一貫した施策は市総出で行なうことにより、どの分野においてもこどもが中心で市を支えていける事業としてわが市もこれを参考に進めていけるよう考えたいと思います。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	29年 6月 30日(金) 10時00分～ 12時00分
視察先	新潟県糸魚川市
調査事項	糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>一貫教育方針については、心・健康・学力のバランスのとれた子どもを育てる。一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てる。ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子ども育てる。家庭、地域、園・学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てる。これらを基本理念として0歳から18歳までの一貫教育方針を打ち出して、健やかな体の育成・豊かな心の育成・確かな学力の育成を三本柱として、「糸魚川ジオ学」や「夢を育てる」を重要な教育活動として位置づけ、糸魚川で育ち、学んだ子どもたちが自身をもって「糸魚川大好き」と言えるよう市民総ぐるみで一貫教育を進めている。</p> <p>9歳までの食育を中心に取り組む一貫として、小学校1.2.3年生には、生活リズムを定着させるよう攻略ブックを配布して、「早ね早起きおいしい朝ごはん」の推進に努めている。</p> <p>また、親子保健計画や心ときめく体験として、屋外での遊びを通して五感を刺激するメニューを作成して、友達とのコミュニケーションやふれあい体験を親子で楽しめるじゃれつき遊びなど積極的に取り入れ、一貫教育の柱を構築している。</p> <p>このようにして、0歳から18歳までの一貫教育方針を打ち出し「ひとみかがやく日本一の子ども」を育てる事業を進めている。三田市でも参考になる内容が多くあり、今後の教育行政を進める上において参考にして提言等を行なっていきたいと思っております。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)